

今週のビルマのニュース 2011年11月18日 (1136号)

NLDが再び政党に 政治囚の解放なし 2年ぶり日緬首脳会談 イベント情報

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ ミャンマー国家人権委員会がテインセイン大統領に「良心の囚人」の釈放を求める公開書簡を出し、13日に国営紙に掲載された。10月の恩赦（政治囚約200人を含む）の直前にも同様の掲載があったことから、14日にも新たな恩赦があるとの見方が広まったが、実施されなかった。AFPによれば国家防衛安保評議会（NDSC）が急きょ延期を指示したとのこと（14日AFP）。16日には一部の政治囚の移送が始まった。移送された政治囚が近く解放される可能性は低いとみられる（16日イラワディ）。
- ・ 17日にバリ島で開かれたASEAN首脳会議で、ビルマの要望通り2014年に同国がASEAN議長国となることが正式に認められた（17日APほか）。議長は加盟国が1年ごとに務めるが、前回ビルマに順番が回ってきた際には欧米諸国がビルマの人権状況などを理由に強く反対し、ビルマは就任を辞退した。
- ・ 民主化運動指導者アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟（NLD）は18日、ヤンゴンの本部で会議を開き、改正された政党登録法に基づき、改めて政党として登録することを決めた。登録すると、議会の補選への参加が求められる。アウンサンスーチー氏も補選に出る候補者となる可能性が高い（18日APほか）。NLDは改正前の政党登録法の規定が不公平だとして登録せず、2010年の総選挙には参加しなかった。
- ・ オバマ米大統領は17日、アウンサンスーチー氏と電話で会談。18日には、来月クリントン国務長官をビルマに派遣すると発表した。国務長官のビルマ訪問は約50年ぶり。（18日AP）
- ・ 18日に開かれた日ASEAN首脳会議で野田首相は、ビルマの「経済特区の開発等を内容とする総合開発調査の実施」に協力すると表明。また同日行われた日緬首脳会談で、野田首相はテインセイン大統領に「経済協力に係る政策協議で実務的な協議を早急に実施したい」と伝えた。（18日外務省）

【政府開発援助（ODA）】

- ・ 具体的案件について新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ チョーサン情報相のインタビュー全文（16日ウォールストリート・ジャーナル）。
<http://online.wsj.com/article/SB10001424052970203699404577042221911188212.html?KEYWORDS=myanmar>
- ・ 「『民主化』進める一方、少数民族弾圧強まる 自治権巡り戦闘、避難2万人」（毎日新聞、17日朝刊）。
<http://mainichi.jp/select/world/news/20111117ddm001030049000c.html>
- ・ シャン・ヘラルドが報告書を発表。昨年11月の総選挙実施以降、シャン州でのケン栽培や麻薬生産が急増、議員7人も麻薬取引に関与。
<http://www.shanland.org/images/stories/independence/shan-drug-watch-2011.pdf>
- ・ オバマ大統領とアウンサンスーチー氏の会談などについて、ホワイトハウス高官によるブリーフィング（全文、18日）。
<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2011/11/18/briefing-burma-senior-administration-officials>

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [東京大学 ビルマゼミ] 第62回駒場祭ドキュメンタリー上映企画『ビルマの背中』—今、ビルマで何が起きているのか。（東京大学駒場キャンパス13号館1323教室、27日15時40分～16時50分）
- ・ [関西学院大学] 2011年度大学主催秋季人権問題講演会「『民政移管』後のビルマ（ミャンマー）：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」ビルマ情報ネットワーク秋元由紀（関西学院大学上ヶ原キャンパスB号館101号教室、12月1日16時50分～）
- ・ [関西学院大学人権教育研究室] 「ビルマ（ミャンマー）の今 2011」写真展・トークセッション 宇田有三、秋元由紀（関西学院大学図書館。写真展11月28日～、トークセッション12月2日15時10分～）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>